

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 和 笑

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 02 月 03 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	ホーム独自の理念を玄関や事務所に掲示しているが、理念に関心のある職員が少なく、形骸化しているため、理念について改めて職員間で、ホームが目指す介護のあり方を話し合い、実践に向けて取り組んでいく。	申し送り時や会議の時に職員が唱和し、理念の意義を理解し、実践するために、管理者が理念について説明し、職員全員で理解した上で、利用者本位の介護サービスが提供出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	職員の離職があり、絶対数が足りないため、利用者中心の介護を優先し、地域住民との関係が希薄になっているため、本来の地域密着型事業所が、地域のために、何をしていくのか協力体制を確立していく。	オーナー夫妻がホームの前に住んでいるので、改めて地域との関係を確認し、相互協力関係を築き、信頼関係を確立していく。また、介護相談や、地域の困った問題に取り組み、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。